

シンプル＆ミニマムな家



一階・二階合わせて、30坪に満たないS様の家。けれど玄関から一步入ると、広々とした開放感にあふれていることに驚きます。それは、不要な間仕切りを排除した広がり間取りであることはもちろん、気に入ったものだけを長く大切に使うS様のライフスタイルに依るところも大きいでしょう。シンプルで心豊かな暮らしを体現するS様のお住まいを訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.89



茶系でまとめた外観は、庭木のグリーンにも映えることを意図したカラーリング。来春からはポタジェ（収穫と鑑賞の両目的を兼ねる庭）づくりに励むそう！



茅野市 S様ご家族／
ご夫婦と長女・次女の4人住まい
※ご主人はお仕事のため取材日は不在でした
竣工/H29年6月 営業/平井政人
敷地面積/121.40坪 IC/奥村瑠美
延床面積/29.02坪 施工/林 正義



どんな家づくりをしたいと考えていましたか？

奥様 もともと建築やインテリアを見るのが好きで、無駄を排除したシンプルな空間が理想だと考えていました。木の家は何社も見学しましたが、工房信州の家を見てこんな家を建てたいと主人が惚れ込み、家づくりが具体的に動き出しました。建物そのものの良さはもちろん、スタッフの皆さんが嫌味がなく、分からないことは素早く答えてくれるスピード感があり、話を進めやすかったです。最終的な決め手は、選木ツアーやひとてま工房など、私たち家族が家づくりに関われる場がたくさんあること。任せきりではなく、参加して思い出に残る家づくりをしたいと思います。はじめに家族で話し合っただけのテーマは3つ「心と体にやさしい家」「冬あたたか

く夏すずしい家」「長く愛着の持てる家」です。特に3つ目のテーマは、おじいちゃんおばあちゃんになっても似合う家でありたいと、主人と一緒に考えました。シンプルで応用のきく空間と、緑が似合う素朴なデザインを大切に打合せを進めました。



シンプルに暮らす秘訣と、これからの展望を教えてください！



奥様 内装は、白とベージュを7：3で配色して、物を入れてもすっきり・かつ膨張色で広く見えるように考えました。収納は適材適所に細々つくるよりも集中した収納を大きく設けて、暮らしながら使い勝手よく工夫していける空間が便利です。あとは、断捨離の本を読んで実践していますが、家族を巻き込むのはなかなか難しく…。捨てられない物にはその人なりの理由があ

るので、無理強いはしないようにしています。子どもはひと箱から物が溢れるようになったら選別して捨てるルールで、自分で管理させています。家族がそれぞれ納得いくかたちでシンプルライフに近づくことがいちばんです。次のシーズンは庭づくりが楽しみ！梅、柚子、アンズ、ブルーベリーやジュンベリーなど実のなる木を植えて、ジャムづくりや柚子湯を楽しむのが夢。家族みんなで季節を感じる暮らしを大切にしていきたいです。



リビング土間で、外との距離が近づく。お主人は自主的に庭の水やりをしてくれるそう。



営業 平井政人

住みながら、家や庭に手を入れることを大切にされているS様。月日がたつほど良い家になっていきそうで、今から楽しみです。

Focus on the Owner!!

深い緑色が印象的な子ども椅子は、奥様が子どもの頃に使っていたもの！奥様のお父様が大切にメンテナンスをされていたそう。母子二代にわたって受け継がれた美しい椅子は、S様の丁寧な暮らしぶりを象徴するようです。



壁付キッチンが木製扉で、インテリアに馴染むデザイン。ダイニングセットも合わせて「木のすず」でオーダー。



キッチンと統一した白の壁面タイルが清潔感ある造作洗面台。ボールペンニングセンのウォールライトが素敵。



二階に設けた大きなウォークインクローゼットは建具のないオープンスタイルで、日常使いがより便利に。

